

宗内寺院紹介 **69**

神奈川教区川崎第一部

薬王山 醫王寺



①本堂 ②参道 ③客殿 ④蟹塚 ⑤地藏堂 ⑥鐘楼堂

寺伝によれば、延暦二十四年（八〇五年）二月に亡くなった宗祖伝教大師の侍者ともいわれる春光坊祐長法師の開山とされている。千二百年の歴史を持つ名刹寺院である。

本尊は薬師如来で一尺八寸の木彫坐像。脇本尊は十一面観世音菩薩で午年の十二年毎には御開帳をしており、准秩父観音霊場第二十二番札所となっている。

江戸時代中期建立の大本堂は、二十八世英恩代に昭和二十年の川崎大空襲により焼失し、現在の本堂は昭和三十二年五月、二十九世隆顯代に再建、客殿は平成三年十月、第三千世光男代に建立された。

醫王寺は品川にある天台宗常行寺の末寺であり、小田原北条氏の家臣、間宮豊前守信盛がご当地に住んだ頃、祈願所と定めたこともある。

また、神奈川県の話に登場する「背中の赤いかに」の蟹塚、「塩解け地藏」の地藏堂があり、市民の名所・寺院めぐり等で参観対象になっている。

境内には本堂、客殿、六角堂、鐘楼堂、地藏堂、馬頭観音堂等の諸堂が整備され今日に至っている。

神奈川教区川崎第1部
薬王山 醫王寺

住 所 / 〒210-0808 川崎市川崎区旭町2-4-4
電話番号 / 044-233-4239